



託北だより「あすなろ」No.71

「和」～敬・愛・信～

令和8年1月8日(木)
熊本市立託麻北小学校
文責：小倉 秀俊



HPコード

☀️ 「飛躍の午年」

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年、雪がちらつく寒い三が日でした。皆様はどのようなお正月でしたでしょうか。中には、年末のインフルエンザ流行で、大変な年末年始をお過ごしになったご家庭もあるかと思ひます。

さて、今日から3学期がスタートしました。以下、始業式で話した主な内容です。

令和8年、2026年が始まり、今日から3学期がスタートしました。

3学期は、1学期や2学期に比べて短いですね。1月は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」と言われるように、あっという間に過ぎてしまいます。目標をもって、しっかり頑張りましょう。

さて、お正月はどうでしたか。ゆっくりできましたか。

今年は何年でしょう。そう「午年」ですね。この絵は、心のサポート相談員の横山忠克先生が描かれた午年の絵です。楽しい絵ですね。

「馬」は昔から人の生活に欠かせないものでした。馬は、競走馬のサラブレッドに代表されるように、走るのがとても速いです。一番早い馬で、時速90キロメートルで走るそうです。高速道路も走れますね。この馬は、宮崎県の都井岬にいる野生の馬です。今から約300年以上前に放牧された馬が野生化したそうです。

また力も強く、北海道のばん馬という種類の馬は、1トン以上の荷物を引っ張ることができるそうです。1トンは、軽自動車の重さだそうです。鉄道や自動車がなかった時代は大切な輸送手段に使われていました。

ところで、みなさんは馬の目を見たことがありますか。きれいな澄んだ目をしてますね。先ほど紹介した都井岬の馬も、近づいてみると、大きなクリクリしたきれいな目をしていました。馬は、基本的に穏やかな性格で仲間と協力する協調性を持っているそうです。また、記憶



方に優れており、優しくしてくれたりお世話をしてくれたりした人のことを何年も覚えているそうです。もちろん嫌なことをした人も覚えています。みなさんも午年の馬にあやかって、勉強ができるようになるといいですね。

特に今年は、60年に一度の「丙午」の年だそうです。「丙（ひのえ）」はお日様の「陽」や「炎」に通じます。何事にも情熱をもって「馬」のように、飛躍する年です。自分を信じて頑張れば、「きっと（ ）くいく」と思います。

令和7年度も残り少なくなりました。4月からは、それぞれが、進学、あるいは進級し、次のステップに進みます。そのための準備期間でもあります。目標をもって、この短い3学期を頑張ってください。

これでお話を終わります。静かに聞いてくれてありがとうございました。

令和8年1月の予定（再掲載）

8日（木）3学期始業式

13日（火）火災避難訓練

16日（金）いのちの大切さを考える講演会（5年生）

22日（木）児童集会（給食委員会）

27日（火）幼保小中連携の日（託麻西小）4時間授業（給食有）

29日（木）小学校授業研究会（市内一斉）3時間授業（給食有）



横山忠克先生作

コーヒーブレイク



「真実は小説よりも奇なり」という言葉がありますが、年の初めから、とんでもないドラマを見せてもらいました。1月2日と3日に行われた箱根駅伝です。毎年楽しみにしていますが、今年ほど興奮したことはありません。1区で遅れた青山学院、2区での追い上げも、外国人ランナーを中心とした素晴らしい走りに埋もれていました。さすがに今年は厳しいなと思っていました。しかし、3区、4区と順調に順位を上げ、5区の黒田朝日選手にたすきが渡されると、今から山道を登るとは思えないくらいの勢いで走りだしました。この黒田選手、当日変更での山登りです。誰もがエース区間の2区を走るものと予想していましたが、ここで原マジック炸裂です。あっという間に前に行く強豪校の選手を追い抜いていきます。最後に、区間賞の本命と言われていた早稲田の工藤選手をあっさり追い抜きました。それ以降は、一度も先頭を渡すことなく、大手門のゴールに飛び込みました。圧巻の勝利です。優勝の胴上げを見ながら、「自律『自走』できる選手を育てることが大切だ。」という原監督の言葉を思い出しました。特に、黒田選手は、時計を着けずに大会に臨み、積み重ねて得た自分の感覚を信じて走るそうです。黒田選手はいませんが、来年の箱根も楽しみです。



令和8年 初日の出